

第七十四回帝國議會  
衆議院

青年學校教育費國庫補助法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案  
青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月二十七日(月曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事武知 勇記君 理事長野 高一君

理事會和 義式君 手代木隆吉君

長野、長廣君 樋口善右衛門君

庄司 一郎君 田子 一民君

河上 哲太君 河合 義一君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 中村 明人君

文部參與官 野中 徹也君

文部省社會教育局長 田中 重之君

教學局長官 菊池豐三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

○野村委員長 是カラ開會致シマス——庄司君

○庄司委員 最初陸軍當局ニ御尋ヲ申上ゲマス、青年學校ノ教授方針ト關聯致シマシテ、陸軍當局ニ是非御尋ヲシナケレバナラナイ二三ノ問題ノ第一問ハ、極ク簡單ニ要點ダケ申上ゲマス、青年學校教練科ノ軍

事指導員ハ、最近ノ情勢ニ於テ非常ニ質ガ低下シテ居ルヤニ見受ケラレマス、隨ヒマシテ陸軍ニ於テハ、現時ノ青年學校ノ指導員ヲ各地ノ聯隊ニ短期召集ヲサレマシテ、軍事教練ヲ青年學校生徒ニ與ヘルニ相應シイ所ノ再教育ヲナサル御計畫ガアルカナイカ、願クハ左様ニシテ欲シイト云フ信念ノ上カラ御伺ヲ申上ゲル次第アリマス、尙ホ青年學校教練科ノ指導員ニ對スル手當ト云フモノハ、全國のニ甚ダ菲薄デゴザイマス、私ハ只今全國のノ指導員ノ手當ガ一箇年幾ラト云フ平均ノ統計ハ不幸ニシテ持ツテ居リマセスガ、東北地方ナドハ指導員一箇年ノ平均ノ手當ハ大體三十五圓内外ノヤウニ見受ケラレマス、隨ヒマシテ指導員ノ一定ノ制服、或ハ軍靴其ノ他指導員トシテ相應シイ服裝ヲスル實費ニモ足ラナイヤウナ現狀ニ見受ケラレマスノデ、洵ニ地方町村ノ立場カラ見マス御氣ノ毒千萬デゴザイマス、多クハ在郷軍人幹部級ノ各位ガ指導員ノ任ニ當ラレテ居ルノデゴザイマスガ、ソコデ此ノ指導員ノ年手當ニ付テ、陸軍省ニ於テ帝國在郷軍人會ニ對スル補助ヲ増額サレマスルナラバ、在郷軍人會ノ各市町村

分會ニ對スル國庫補助金ガ増加サル意味ニ於テ、指導員ノ年手當ハ獨リ市町村ニミ任セナイデ、陸軍省ノ在郷軍人會ニ對スル補助ニ依ツテ指導員ノ手當ヲモウ少シ増額サレテ、實費ニ滿ツル程度ノ手當ヲ支給サルル御意圖ガアルカナイカト云フコトヲ伺ヒタイ、尙ホ左様ナ現金ノ増額ニ依ツテ、陸軍省ガ在郷軍人會ヲ通シテ手當ヲ交付スルコトガ不可能ナ場合ニ於テハ、指導員ノ被服其ノ他指導員トシテ相應シイ服裝ヲ現物給與サルル御意思ガアルカナイカト云フコトモ併セテ御伺致シマス

ソレカラ第二ノ御伺ハ、青年學校生徒ガ現在着用シテ居リマスル所ノ制服ハ「オール・スフ」デゴザイマス、昨年日支事變ノ直前ニ於テハ、青年學校生徒ノ着用スル所ノ制服ハ綿絲デゴザイマシテ、一著二圓七十錢程度ノモノデゴザイマシタ、然ルニ色々政府ノ統制其ノ他ノ關係ニ依ツテ、「オール・スフ」ノ制服デナケレバ購買出來ナイヤウナ關係ニナリマシテ、此ノ「オール・スフ」ノ一著ノ販賣價格ハ只今六圓七十錢程度デアリマス、而モ値段ガ倍以上或ハ三倍近ク暴騰シタニ拘ラズ、「オール・スフ」デゴザイマス關係上、例ヘバ軍事教練ニ於テ匍匐前進ト云フ、鐵砲ヲ持ツテ地ベタヲ匍ヒ廻ル所ノ訓練ヲスル場合ニ於テ、腕ノ所、或ハ左側ノ上著ハ約三十分内外ノ訓練ニ於テ完全ニ大キナ孔ガ穿クノデアリマス、青年學校生徒ノ經濟生活ハ、御承知ノ如ク中等學校或ハ高等小學校ニサヘモ入ルコトノ出來ナイ、特ニ農漁山村地方ニ於テハ生活程度ノ洵ニ困難ナ青少年諸君ガ入學ヲシテ居ル學校デゴザイマスルガ故ニ、七圓程ノ制服ノ購買費ヲ投ジテ購ヒマシタモノガ、僅カ三十分ヤ一時間デ大キナ孔ガボロ／＼ト穿クト云フヤウナ現狀ハ、經濟上洵ニ忍ビナイコトデアリマス、ソコデ青年學校生徒ノ着用スル制服ニ關スル限リハ「オール・スフ」ト云フヤウナコトヲ全廢シテ、以前ノ綿絲ノ制服ヲ與フルコトニ對シマシテ、ドウ云フ御考ヲ御持チデアアルカ、斯ウ云フ御伺デアリマス

ソレカラ陸軍省ニ對スル最後ノ質問ハ、是ハ前ニモ前質問者ノ御尋ガアツタヤウデアリマスガ、青年學校生徒或ハ青年團員ノ青少年ノ體位ガ極端ニ低下シテ居ル、例ヘバ大正年代ノ末期ニ於テハ、壯丁検査一千

名ニ付テ二百五十名内外ノ不合格者ヲ出シ  
タノデアリマスガ、其ノ後五箇年經過後ノ  
平均統計ニ於テハ、三百五十名程度ノ不合  
格者ヲ出シテ居ル、更ニ昭和十年度ノ壯丁  
検査ニ於テハ四百名乃至四百五十名ノ不合  
格者ヲ出シテ居ル、斯様ニ壯丁體位ノ驚ク  
ベキ向上ノ反對ノ向下ノ趨勢ヲ示シテ居ル  
コトニ對シテ、陸軍ハ如何ナル指導對策ヲ  
御持チデアルカ、或ハ厚生省或ハ文部省、  
即チ學校衛生關係ト關聯シテ御相談ノ上、  
如何ナル御對策ヲ御持チデアルカ、就中東  
北六縣ハ、御承知ノ如ク全國デモ最モ優秀  
ナ體位ノ剛健ナ壯丁ヲ持ツテ居リマシタノ  
ハ東北地方デゴザイマス、即チ十年前ニハ  
壯丁一千名ニ付テ不合格者ハ僅カ百三十名  
内外シカナカツタノデアリマス、然ルニ其  
ノ東北ガ最近全國並ミニ四百名乃至四百五  
十名ノ不合格者ヲ示シテ居ル、殊ニ青森縣  
ノ如キハ、昭和十年度ニ於テハ四百六十名  
ト云フ、全國三府四十三縣ノ中第一位ヲ占  
メルヤウナ不良縣ト相成ツテ居リマス、是  
ハ東北振興策ト關聯ヲ致シマシテ、東北地  
方連年ノ冷害、霜害、或ハ高潮害、交々至  
ル所ノ天然の災害ニ關聯ヲ致シマシテ、東  
北民衆ノ生活ガ塗炭ノ苦ミニ陥ツタ結果、  
或ハ榮養不良ノ爲デアルカ、或ハ生活困難

ノ爲ニ衛生上ノ整備ヲ爲スコトガ出來ナイ  
結果デアルカ、或ハ出稼ギヲ餘儀ナクサレ  
テ炭坑地帯或ハ鑛業地帯ニ東北地方ノ青少  
年ガ出稼ギヲシテ、其ノ結果肺結核ヲ初メ  
色々ノ傳染病ヲ農村ニ齎シタ結果デアルカ  
ドウカ、特ニ東北六縣地方ハ、只今國策ト  
シテ東北振興ノ政策ヲ政府ガ採ラレテ居ル  
關係上、東北地方ノ青少年ノ此ノ驚クベキ  
著シイ體位ノ低下ニ付テ、如何ナル御研究  
ト御對策ヲ御持チデアルカト云フコトヲ御  
伺シタイノデアリマス、以上ガ陸軍當局ニ  
對シマシテ、青年學校ノ萬全ヲ期スル爲ニ  
御伺ヲ致シタイ諸點デアリマス

○中村政府委員 只今青年學校ノ萬全ヲ期  
スルト云フ意味デ、特ニ陸軍ニ數箇條ノ御  
質疑ノアリマシタコトハ洵ニ感謝ヲ致シマ  
ス、御承知ノ如ク御質問ノ範圍ハ、陸軍モ  
關與シテ居リマスガ、其ノ主務省ハ文部省  
デゴザイマスカラ、或ハ私ノ申シマスルコ  
トガ文部當局ノ御考ト齟齬ガアルカモ分リ  
マセスガ、サウ云フ點ガアリマスレバ、此  
席ニ幸ニ政府委員ガ御居デニナリマスカ  
ラ、御訂正ヲ願フコトニシマシテ、陸軍ノ  
見所ヲ申セト云フ御熱心ナル御希望ニ對  
シマシテ、私カラ一言申述べルコトニ致シ  
マス

第一番ニ青年學校教練指導員ノ再教育ヲ  
ヤル必要ハナイカ、是ハ確ニアリマス、素  
地モ御指摘ノ通り此ノ時局ノ影響ヲ受ケマ  
シテ、有爲潑刺タル指導員モ外ニ從軍シ、  
其ノ他此ノ事變ノ色々ナ關係デ指導員ノ素  
質ガ低下シテ居ルト云フコトハ御指摘ノ通  
リデアリマス、隨テ茲ニ再教育ノ必要ヲ生  
ズルノデアリマス、然ラバ軍ハ是ガ爲ニ指  
導員ヲ召集シテ演習ヲスルカ、斯ウ云フ御  
問デゴザイマスガ、是ハ指導員ノミノ召集  
演習ト云フコトハ今考ヘテ居ラスノデアリ  
マスガ、軍ハ機會アル毎ニ、苟モ指導員ガモ  
一度營門ヘ來ルナラバ直チニ調査ヲ致シマ  
シテ、特別ニ指導員ニ必要ナル教育ヲ施シ  
テ來テ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマ  
ス、殊ニ今ノヤウニ低下シタヤウナ場合ニ  
於テハ、一層ソレ等ノ措置ハ必要ト存ジ  
マス、又各種ノ機會ニ於キマシテ軍隊ノ  
見學ナリ、或ハ其ノ地方ニ於テ演習ノ實施  
セラレタ場合ニ指導員ヲ指導スルトカ、百  
般ノ機會ヲ利用シテ指導員ノ教練指導ノ能  
力ヲ向上スルコトニ努メテ居リマスガ、何  
ト致シマシテモ事變ノ影響上適材適所ト云  
フ譯ニハ行カナイノデゴザイマスカラ、此  
ノ點ハ御諒承ノ上御指導ヲ願ヒタイト思ヒ  
マス、併シナガラ軍ト致シマシテハ此ノ教練

ノ必要ナルニ鑑ミマシテ、熱ト意力トヲ以  
テ此ノ缺陷ヲモ補ヒ、十分青年學校ノ教練  
指導ノ目的ヲ達シタイト考ヘテ居リマス

序ニ手當ノ問題デゴザイマスガ、是ハ青  
年學校ノ發達ノ道程ヲ十分御承知ニナツテ  
居ルコトト思ヒマスガ、是ハ青年學校、或  
ハ補習學校ノ進歩シタ結果デゴザイマシテ、  
青年訓練當時ニ於キマシテハ、是ハ總テ  
何ト申シマスガ、一ツノ義務ト申シマスヨ  
リハ、寧ロ進シデ國ノ重大時ニ總テヲ擲ツ  
テ奉公スルト云フヤウナ意味デ、非常ニ安  
イ、本當ニ手當ニモナラスヤウナコトデ、  
全國共ニ此ノ事業ニ從事シテ下サツテ居ル  
ノデアリマス、其ノ結果今日マデ其ノ傳統  
的ノ精神ハ繋イデ來テ居ルコトト思ヒマス  
ガ、一面指導員カラ見レバ、サウ云フ薄給  
ニモ甘ンジテ此ノ非常時ヲ乘越シテヤツテ  
行キタイ、又一面之ヲ指導スル當局トナツ  
テ見レバ、今御示シニナツタヤウナ困苦其  
ノ他萬般ノ費用ニ對シテハ何等カ報イタイ、  
是ハ當然ノコトト思ヒマスガ、ドウカソコ  
ノ兼合ヲ適當ニ御指導願ヒタイト軍部モ考  
ヘテ居ルノデアリマス、一面ニ於テハドウ  
ゾ一ツ獻身的ニ、此ノ學校ノ性質ニ鑑ミテ  
奮勵努力ヲシテ戴キタイ、一面ニハ又其ノ  
現況ニ應ジテ心配ヲスル、兩々表ト裏ト相

扶合ツテ、非常時局ニ處シテ一層ノ御奮勵ヲ願ヒタイ、就テハ陸軍ニハ在郷軍人會ト云フモノガアツテ、國庫補助モ本年ハ増加シテ居ル、其ノ方ノ費用ヲ一ツ之ニ振向ケヌカ、或ハ其ノ方ノ費用デ然レバキヤツテ貴ヒタイ、斯ウ云フ御希望デアリマスガ、在郷軍人分會ニ配當セラレテ居ル費用ガ、自然ニ指導員アタリノ負擔ニモ間接ニハ補助ヲシテ行クコトニナルデアラウト思ヒマス、若シ夫レ指導員ガ在郷軍人デアツタ場合ニハサウデアリマスガ、併シナガラソレハ間接ノコトデアリマシテ、只今御指導ノヤウナ直接ノ補助ニハナラスト思ヒマス、ソレナラバソレニシタラドウダ、斯ウ云フ御提議デアリマス、是ハ相當ニ研究ヲ要シ、尙ホ詳細當ツテ見ネバ分ラヌコトデアリマシテ、明言ノ出來ナイコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス、在郷軍人會トシテハ其ノ外ニ尙ホ色々必要ナ事ガアリマシテ、國家ノ補助モ戴イテ居ル次第デアリマスカラ、今私ガ御提議ノヤウナコトニ贊否ヲ此處デ論ズル譯ニモ行カナイノデゴザイマス

次ハ指導員並ニ生徒ノ服裝ノコトデゴザイマスガ、殊ニ生徒ノ服裝、是ハ「オール・スフ」デアルト云フ御話デアリマシタガ、是レ亦ドウモ非常時ノ今日ノ狀況上、是コソ

如何トモスルコトガ出來ナイノデゴザイマスト斯ウ申上ゲネバナラヌデアリマス、勿論履行ヲシタリ膝行前進ヲシタリシマスレバ、新品「スフ」デモ砂礫地ニ行キマスレバ三時間ト持チマセヌ、或ハ二時間デ摩切レルカモ分リマセヌ、ソコハ更生的ニ、精神的ニ御利用戴キマシテ、ソレヲ更ニ青年ガ夜ニナツテ家デ古襪襪ヲ當テ縫フ、甕ガ膝ニ膏藥貼リノヤウニ恐シイ布片ヲ附ケテ居ルヤウナ狀態ニマデ修理ヲサシテ使フ、ソコニ一面ハ剛健ノ士氣ヲ養ヒ、一面ハ國家ノ非常統制ニ青年ガ進ンデ當ル、萬國地圖ノヤウナ「オール・スフ」ノ國策ノ第一線ニ沿ツタ制服ヲ著テ、所謂都大路ヲ闊歩スルト云フコトガ、指導ノ上ニ效果ガアルノデハナイカト斯ウ私ハ思フノデアリマス、ドウゾ是等ノ點モ積極的ニ御乗出シヲ願ヒマシテ、サウ云フ意氣デ、一日モ早く吾々ハ木綿ノ服、否立派ナ毛ノ服デモ著レルヤウニ、一ツ未來ニ光明ヲ持チ、將來ニ樂ミヲ持ツテ、所謂盤根錯節ヲ切抜ケヨウト云フ所ニ御指導ヲ願ヒタイト、軍カラ申シマス

其ノ次ニ體格ノ低下ヲシタコトハ如何ニモ仰セノ通りデアリマス、又東北、殊ニ青森ノ如キ、嘗テハ立派ナ壯丁ヲ以テ誇トサレ

テ居ツタ縣モ下ツテ居ルト云フヤウナコトハ、只今御指適ニナツタ通り國家ノ重大事デアリマシテ、是ハ獨リ陸軍ダケノ問題デナクシテ、朝野舉ツテ例外ナシニ當ラネバナラヌ問題デアリマス、殊ニ陸軍ノ如キハ、徵兵検査ニ立派ナ統計ガ出來マスルノデ、其ノ統計ヲ證據ニシテ、聲ヲ大ニシテ各省各關係部局ニ協同ヲ御願シ、又各省モ大童ニナツテ國家ノ一大事トシテ、是ニハ營々トシテ邁進セラレテ居ルコトヲ私共ハ認ス、又皆サンモ豫算面ニ於テモ此ノ事ハ既ニ御認識下サルルコトガ出來ルダラウト思ヒマス、何ト致シマシテモ軍ト致シマシハ、直接關與スルノハ先ヅ兵隊ニ入ツテカラデア

ル、而シテ兵隊ニ入ツテカラノ壯丁ニ對スル吾々ノ意氣込ハ、私共決シテソシナチツボケナ考ヲ持ツテ居リマセヌ、此ノ兵ガ軍隊ヲ出レバ結婚スル、家庭ヲ編成スル、サウシタラ性病ナドヲ持タシタラバ一大事デアルト云フノデ、軍隊ニ入ツタ者ノ産ム子供ハ健全ナ、丸々トシタ桃太郎ノヤウナ子供ヲ産マセヨウ、又立派ナ家庭ヲ編成サセタイ、浮華文弱ニ流レタ婦人ヲ娶ツテハ

麗ナ婦人ナドニハ寧ロ考ガ及バズシテ、體格強健ニシテ思想健全ナル娘ヲ貰ヘ、サウシテ立派ナ第二世ヲ作レ、ソレニハ先ヅ自分ガ本デア、生殖ニ付テハ少シモ缺陷ヲ來サナイヤウニ、其處マデ説キ聽カシテアリマス、惡イ考ヲ起シテモ、サウ云フ精神ガ段々出來テ、軍隊デハ斯ウ云フ教育ヲセラレテ居ル、吾々ノ子孫ハ、若シ自分が過ツテ性病ニデモ罹ツタラ子ハドウナルカト云フ風ニシテ、第二世ニマデ關與シテ、軍隊ノ教育ハ其ノ次ノト先ヲ見デヤツテ居ルノデアリマス、是ハ一例デゴザイマスガ、入ツテモ既ニ斯ノ如シ、況ヤ軍隊ニ入ラヌ前ニ於テハ前ニ申上ゲタ通り關係當局ト協調シテ國民ノ體位ノ向上ト云フコトニ付テ努力致シテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ點ニ付テハ關心ハ最モ深イモノデア、又唯關心ヲ持ツテ居ルノミデハナイ、直接ニ表トナリ裏トナツテ、各省ト連繫シテ國家ノ一大急務トシテ歩調ヲ揃ヘテ今ヤ國民體位ノ向上ト云フ事ニ前進ヲシ始メテ居ル、又猛烈ニ歩調ヲ高く上ゲテ元氣良ク進マナケレバナラヌ問題デアルト云フコトヲ確信シテ居リマス、此ノ點十分御諒承ヲ願ヒマス

○庄司委員 陸軍ニ御尋ノコトハ、只今ノ

御答辯デ大體諒承致シマシカラ是デ終リマス

次ニ文部當局ニ御伺ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ全國ノ公私青年學校ニ對シテ、御眞影竝ニ勅語ノ御下賜ニ關シテノ御尋デアリマス、全國ノ公私青年學校ニ對シテ、文部大臣ハ御眞影竝ニ勅語ノ御下賜ニ關シテ一定ノ内規ヲ定メラレテソレハ、善處サレテ居ルト思ツテ居リマス、併シナガラ青年學校ニシテ獨立ノ専任校長ヲ持ツテ居ナイ學校、或ハ小學校ニ併置サレテ居ル所謂居候學校デナイ、獨立ノ校舍ヲ持ツテ居ル青年學校以外ニハ、御下賜ノ途ガ開カレテ居ナイヤウナ噂ヲ拜承致シテ居リマス、青年學校義務教育ノ第一年次ヲ迎ヘマシタ今日、青年學校ニ於テ國家ノ國祭日等ニ當リマシテ、御眞影ヲ拜シ奉リ、教育勅語ヲ捧讀シテ戴クト云フコトハ、全國三百万勤勞青年學校生徒ニ取リマシテハ此ノ上ナイ感激デアリ、又青年學校生徒ノ誇デアラネバナラスト思フノデアリマス、然ルニ専任ノ校長ガ居ナイ、或ハ校舍ガ獨立シテ居ナイカラト云フ理由ニ依ツテノミ、御下賜ノ光榮ト感激ニ浸ルコトガ出來得ナイト云フコトハ、甚ダ殘念デゴザイマス、事皇室ニ關係ノコトデゴザイマスカラ、國家ノ祝典日ニ於テ御眞影

ノ拜賀、竝ニ教育勅語ノ御捧讀關係ニ於ケル青年學校ノ實情ヲ茲ニ申上ゲルコトヲ本員ハ憚リマス、併シナガラ現下青年學校竝ニ青年學校生徒ハ、只今申上ゲタ御眞影竝ニ教育勅語ノ御下賜ヲ、心ノ底カラ熱望シテ居ル次第デアリマスガ、文部省ハ青年學校ノ義務教育ニ今ヤ直面シテ、如何ナル考ヲ持ツテ居ラレルカ、此ノ點ヲ先ヅ御伺ヒシタイト思ヒマス

○野中政府委員 青年學校ニ對シテ御眞影、教育勅語御下賜等ノ途ヲ開イテ貰ヒタイ、否進シテ全般的ニ御下賜ヲシテ戴クヤウニシテ貰ヒタイト云フ御希望ノヤウデアリマスガ、實ハ其ノ途ハ開カレテ居リマス、今御話ノヤウニ獨立ノ校舍、専任校長ガ居ルコト、生徒ガ五十人以上アル場合ニ大體ハ御下賜ニナツテ居リマス、是ハ勅語竝ニ御眞影ヲ大切ニシナケレバイカス、同時ニ之ニ過ガアツテハイカスト云フ意味デ、責任者ノアルモノニ御下賜ニナツテ居リマス、是カラ後ニ於キマシテモ、只今御話ノヤウナ青年學校ニ對シテモ御下賜セラレルヤウ、十分考究シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 只今ノ點ハソレデ終リマシテ第二點ニ移リマス、青年學校ノ本科卒業生

ニ對シテ、公立中學校、或ハ中等學校卒業生ト同様ノ特典ヲ付與シ、更ニ本科卒業生中ノ希望者ガ專門學校其ノ他ニ進學シ得ルヤウナ特權——ト云ツテハ如何デスガ、ソレヲ付與スル御考ハナイデセウカ、青年學校ノ現行制度ハ普通科二年、本科五年デゴザイマスルカラ、七年ト云フ可成ノ長年月ノ教育デゴザイマス、仍テ學科目等ニ於テハ、公立ノ中等學校等ニ於テ教ヘル教科目ト、青年學校ノ本科ト同ジデゴザイマセウ、大體年齡ノ關係カラ言ヒマシテモ、六箇年ノ小學校ノ義務教育ヲ卒ヘタ後ニ、更ニ七箇年ノ教育ヲスル青年學校ノ本科ヲ卒業シタ者ハ、大體ニ於テ中學卒業生程度ノ學力ガアルヤウニ認メラレル次第デアリマス、青年學校本科卒業生ニ將來ノ希望ト光明ヲ與ヘ、進學ノ途ヲ開クコトハ極メテ妥當ナコトデアツテ、本當ニ勤勞青年ヲ愛スル所以デアルト私ハ考ヘル次第デアリマセガ、文部當局ハ如何ナル御意見デアリマセウカ

ヲ害セザルヤウニ、特ニ注意ヲ加ヘル必要ガアルト存ジマス、又一般學校制度ノ改善トモ關係致シテ居リマスカラ、是等ヲ併セテ攻究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○野中政府委員 青年學校ノ本科卒業生ニ、中學卒業生ト同資格ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フ御意見デアリマスガ、是モ一ツノ御意見デゴザイマス、併シ此ノ青年學校ノ性質上、所謂郷土性ヲ有スル青年學校ノ本質

○庄司委員 次ニ青年學校視學員ノ改善ニ付テ御尋申上ゲマス、現行制度ノ下ニ於ケル青年學校ノ視學員ト云フノハ、師範學校校長、或ハ府縣立ノ學校長、或ハ教員或ハ大學ノ教授、斯ウ云フ方々ガ任命ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、ソレ等ノ何レノ方方モ實際ニ於テハ非常ニ劇務ニアル諸君デアリマス、特ニ距離ノ遠イ農漁山村方面デハ、一年間ニ一回サヘモ巡回ヲシテ視學ノ使命ヲ果シ得ナイ視學員ガ極メテ多イト云フ現下ノ實情デス、然ルニ老朽シタル學校長デアルトカ、學究ノ爲ニ日モ亦足ラナイ大學ノ教授デアルト云フヤウナ方々ヲ、府縣ニ依ツテ五名或ハ十名任命サレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ視學制度ノ實績ハ甚ダ芳シクゴザイマセス、殊ニ此ノ視學制度ノ内規ノ最後ニ、地方ニ於ケル學識經驗アル德望家ヲモ任命スルト云フ一項ガアルニモ拘ラズ、何レノ府縣ニ於テモ、野ニ在所ノ所謂德望家或ハ學識經驗アル方、地方ガ仰イデ以テ崇敬スル所ノ人格ノ崇高ナル有力家ト云フヤウナ方々ハ、一向任命サレ

テ居ナイ、甚ダ此ノ視學制度ノ現在ノ狀態  
ト云フモノハ形式ニノミ囚ハレテ、其ノ實  
績ガ舉ツテ居リマセヌ、私ハ此ノ事ヲ多年  
慨歎シテ居ル一人デアリマスガ、之ヲ改善  
スル御意思ガアルカナイカ、此ノ事ヲ御伺  
申上ゲタイノデアリマス、是非改善ヲシ  
テ、此ノ視學制度ヲ將來ニ存置スルナラ  
バ、相當青年學校指導ノ爲ニ時間ノ餘裕ガ  
アル方、眞ニ青年學校ヲ理解シテ、視學制  
度ヲ通シテ眞劍ニ青年學校ヲ指導誘拔サレ  
ル人々ヲ舉ゲタイト云フ熱意カラ、此ノ事  
ヲ御伺申上ゲル所以デアリマス

○田中政府委員 只今視學員ノコトニ付キ

マシテ御質問ゴザイマシタガ、青年學校ニ於  
キマシテハ、非常ニ多種多様ナ學校ヲ經營致  
シマスルノデ、此ノ指導監督ニ付キマシテモ、  
各方面ノ經驗アル人々、學識アル人々ヲ廣  
ク任用致シマシテ、之ニ當ラシメマスコト  
ガ適當ト考ヘテ居リマス、サウ云フ見地ニ  
於キマシテ視學委員ノ制度ヲ設ケマシテ、  
青年學校ノ指導監督ニ當ツテ居ルノデアリ  
マシテ、適當ナ人ヲ得マシテ非常ニ良好ナ  
成績ヲ舉ゲテ居ル事例モ決シテ少クナイト  
考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ又同  
時ニ、總テノ場合ニ於キマシテ只今申シタ  
ヤウナコトニバカリナツテ居ルト云フコト

ハ、實際ニハ申シ難イ場合モ少クナイヤウ  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ只今御話  
ガゴザイマシタヤウニ、視學委員制度ヲ設  
ケマシタ趣旨ヲ貫徹致ス爲ニハ、モット在  
野ノ經驗家、有識者ヲ視學委員ニ加ヘル必  
要ガアルノデハナイカト云フ御意見ニ對シ  
マシテハ、當局ト致シマシテモ其ノ點感ヲ  
同ジクシテ居ル所ガアルノデアリマス、隨  
ヒマシテサウ云フヤウナ點ヲ十分ニ考慮致  
シマシテ、視學員制度ヲ設ケマシタ其ノ趣  
旨ガ一層徹底致シマスルヤウニ、今後トモ  
攻究モシ、又努力モ致シタイト考ヘテ居ル  
次第デアリマス

○庄司委員 青年學校專任教員ノ初任給ノ

待遇改善、其ノ後ノ勤続年數等ニ依ル待遇  
ノ改善ニ對シテ、文部當局ハ如何ナル御意  
見ヲ御持チニナツテ居ルカト云フ質問デア  
リマス、現下市町村ノ小學校ノ教員ノ數  
ハ、大陸等ニ轉出ヲシタ教員、或ハ殷賑産  
業等ニ轉業シタ教員等ガ續出ヲ致シマシ  
テ、非常ニ小學校教員ガ拂底ヲシテ居ル爲  
ニ、地方府縣ニ於テハ平均約二割程代用教  
員ヲ用ヒザルヲ得ナイヤウナ破目ニ陥ツテ  
居ルノデアリマス、其ノ小學校教員ノ師範  
學校ヲ出タ場合ニ於ケル初任給ハ、濱口緊  
縮内閣ノ前マデハ四十八圓デアリマシタガ、

ソレガ緊縮内閣ニ依ツテ四十五圓ニサレ  
タ、女子ノ方ハ約五圓程府縣平均ニ於テ安  
イ、即チ小學校教員デ全國平均ノ月給ト云  
フモノハ現在ニ於テ五十七圓、而モ青年學  
校專任教員ノ現在ノ俸給ノ平均額ハ五十三  
圓、又初任給ニ於テ既ニ小學校ニ於テハ四  
十五圓、青年學校ニ於テハ四十圓、斯様ナ  
狀態デアリマスルガ故ニ、小學校教員モ青  
年學校教員モ、非常ニ生活ト云フモノガ不  
安定デアリマス、生活ガ脅威サレ、不安定  
デアツテ、ドウシテ立派ナ完全ナ國民教育  
ヲ施スコトガ出來ルカ、青年ニ對シテ綜合  
的ナ教育ヲ施セト言フノハ非常ニ無理ナ註  
文デアアル、全國二十五萬ノ小學校教員ノ  
中、約十六萬人ハ青年學校ノ兼任教員デア  
ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、此ノ際  
私ガ文部省ノ御意向ヲ御伺シタイノハ、小  
學校教員並ニ薄遇ニアツテ惠マレナイ青年  
學校專任教員ノ初任給並ニ勤続後ニ於ケル  
生活安定ノ爲ニ、相當ナル増俸ヲ地方長官  
ヲシテ斷行セシムル御意圖、或ハ御計畫ヲ  
御持デアアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺申上ゲ  
マス

○田中政府委員 只今青年學校教員ノ待遇

殊ニ初任給ノコトニ付キマシテ御質問ガア  
リ、又御意見ノ開陳ガアツタノデアリマス  
ガ、青年學校ニ於キマシテハ、今日專任教  
員ノ任用ガ段々進ンデ居ルノデアリマス  
ガ、教員養成等ノ關係ガゴザイマシテ、教  
員養成所ヲ出マシタ所謂有資格教員ヲ任  
用致シ得マスル場合ガ、マダ比較的小イヤ  
ウナ、狀況デアリマス、隨ヒマシテ其ノ初  
任給ト云フモノガ割ニ少イノデアリマス  
ガ、教員養成所ヲ出マシタ者ニ付キマシテ  
ハ、各府縣ニ於キマシテ師範學校ノ卒業者  
ト大體同ジャウニ任用致シテ居リマス、  
又縣ニ依リマシテハ、特ニ青年教育ヲ重シ  
ジマスル趣旨ヨリ致シマシテ、師範學校ヲ  
出タ者ヨリモ初任給ヲ多少引上ゲテ居ル所  
モアルヤウナ實情モアルノデアリマス、併  
シナガラ只今申上ゲマシタヤウニ、是ハ青  
年學校教員養成所ヲ出マシタ者ニ付テ申ス  
ノデアリマシテ、其ノ他ノ教員ニ付キマシ  
テハ、只今御話ガゴザイマシタヤウニ、其  
ノ初任給ハ四十圓前後ト云フヤウナ場合モ  
少クナイ實情デアリマス、尙又其ノ後ノ昇  
給ノ狀況ニ付キマシテモ、今日青年學校ノ  
教員ノ待遇ガ概シテ低位ニアルト云フコト  
ハ、遺憾ナガラ吾々モ其ノ通りト考ヘルノ  
デアリマス、就キマシテハ將來是ガ向上ヲ  
圖ルト云フコトハ極メテ必要ト考ヘルノデ  
アリマス、此ノ點ニ付キマシテハ國庫財政

竝ニ地方財政ノ緩急モアルコトデアリマスカラ、ソレ等ト照シ合セマシテ、當局ニ於キマシテモ考慮致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○庄司委員 更ニ御伺致シタイノハ、小學校教員ガ青年學校教諭或ハ助教諭ニ轉出致シマシタ場合ニハ、年功加俸ノ繼續ガ現行制度ノ下ニ於テハ行ハレテ居ナイ、中斷シテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ青年學校ノ教員竝ニ小學校教員ノ轉出勤務關係ニ於テ、決シテ優遇ノ途デハナイト考ヘルノデアリマスガ、之ヲ繼續出來ルヤウニ御改正ナル御意思ガアルカナイカト云フコトヲ御伺致シマス

序ニモウ一ツ御伺シタイコトハ、市町村立實科高等女學校ノ教員ガ退職ノ場合ニ於テ、恩給年限ニ達シナイ者ガ途中ニ於テ退職ヲ致シマシタ場合ニ於ケル一時恩給ノ支辨ハ、最終ノ學校所在地ノ町村ガ支辨シナケレバナナイヤウニ現行制度ハナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ甚ダ不合理ノ場合ガ多イノデアリマス、例ヘバ茲ニ「エー」ト云フ一教員ガ甲ト云フ場所デ十年勤メタ、次ニ乙ト云フ所ニ五年勤メタ、最後ニ退職スル時ノ町村ニハ僅ニ半年或ハ一年ト云フヤウナ、極メテ短イ期間シカ勤メテ居

ナイ、サウ云フ者ガ退職シタ場合ニ、五年モ十年モ長イ年限ノ間甲乙丙丁ト轉任シテ歩イタ途中ノ町村ハ、何等一時恩給ノ支拂ニ關シテ責任ガゴザイマセズデ、最後ノ町村ガ甚ダ不幸ニモ、一年或ハ半年ノ年限デアリマシテモ、當該教員ノ勤務シタル最後ノ町村トシテ、全額悉クヲ支辨シナケレバナラスト云フ、斯様ナ制度ハ速ニ之ヲ是正シナケレバナラスト考ヘマスガ、當局ハ如何ニ御考デゴザイマスカ

○田中政府委員 只今年功加俸ノ關係ニ付キマシテ御質問ガアリマシタガ、現在ノ制度ハ只今御話ノ通りデアリマシテ、公立學校職員ガ小學校ニ送リマス場合ニハ年功加俸ガ繼續致シマスガ、其ノ反對ノ場合ニ於キマシテハ必シモ繼續シナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ公立學校ト小學校ト其ノ準據法ヲ異ニシテ居リマスノデ、其ノ點多少性質ノ異ナル所カラ、現行制度ニ於マシテハ左様ナ扱ニナツテ居リマスガ、此ノ點ハ當局ト致シマシテモ考慮シテ見ナケレバナラヌ點ト考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ實科高等女學校ニ於ケル職員ノ一時恩給ノコトニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ他ノ局ノ事デアリマシテ一寸分

リニクイ點ガアリマスノデ、取調ベマシテ後程御答申上ゲタイと思ヒマス  
○庄司委員 次ニ内務省ノ政府委員ニ御尋シタイと思ヒマスガ……

○野村委員長 先刻カラ出席方ヲ交渉シテ居リマスガ、本日ハ出席出來ナイヤウデス  
○庄司委員 ソレデハ他ノ機會ニ於テ地方局長又ハ地方課長ノ出席ヲ俟ツテ、五六分間デ宜シイカラ質問スルコトヲ保留致シマシテ、文部省、陸軍省關係ノ質問ハ之ヲ以テ終ルコトニ致シマス

○野村委員長 ソレデハ次會ノ日時ニ付テ御相談申上ゲマス、一寸速記ヲ止メテ……  
(速記中止)

○野村委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマシテ、明後日ノ午前十時カラ開クコトニ致シマス

午後二時二十分散會